



翔べ！松中生

令和5年度 第11号 2月29日発行

「ありがとう」

校長 齋藤 明

朝晩の冬の寒さから、日中では初夏の陽気と思わせる気温の寒暖差が続きましたが、日に日に冬から春へと季節の移り変わりを感じられるようになりました。

さて、3年生は2月末の県公立高校入試も無事に終わり、1日には入学候補者の発表を迎え、それぞれの進路先も決定します。(本当に、ここまでよく頑張りました。)

そして、3月は「別れの季節」となります。

3年生とのお別れは、3月15日の第77回卒業証書授与式です。今年度の卒業式は、卒業生とその保護者、在校生、教職員並びに来賓の皆様にも参加して頂くこととなりました。感染症による制限のない卒業式は、実に5年ぶりとなります。

中学校の卒業は、義務教育9カ年の修了でもあります。生まれ育ったこの松伏町で、仲間と共に過ごした日々、たくさんの思い出を胸に感慨深い卒業となることでしょう。

ここまでの道のりで、自分との関わりがあった人は、とても多いと思います。中学校卒業というこの節目で、お世話になった人に、心からの感謝の気持ち「ありがとう」を伝えられると良いですね。

卒業後の進学先の学習スタイルも今まで同様、未来を生き抜く力を付けるために、自ら課題を設定する「主体的な学び」、課題解決に向けた仲間と協働しながらの「対話的な学び」、理解を深め、思考力を育成する「深い学び」となるでしょう。

理論物理学者で、相対性理論を提唱したことで有名なアインシュタインは、“**想像力は知識よりも重要である**”と言っています。卒業生の皆さんは、小学校・中学校での学びでたくさんの知識を得ることができました。これからの人生では、その知識を活かし、自分の想像力を信じて、夢を形にしていってください。「皆さんの幸せを心より祈っています。」

また、1, 2年生も3月26日に修了式を迎え、4月には進級となります。今のクラスで過ごす時間も残り少なくなってきました。学校では、毎年クラス替えがあり、一生に一度となる仲間達との1年間を何度も繰り返しながら皆さんは成長してきました。

最後の1ヶ月は、1年間のまとめとしての時間となります。3年生同様、笑顔で「**ありがとう**」と別れ、4月からの新しい「出会い」に向かっていけるよう、仲間との関係を最後まで大切にしてください。

最後に、保護者の皆様方におかれましては、今年度も本校の教育活動へのご理解ご協力をいただき、誠に感謝申し上げます。今後とも教職員一同、子どもたち一人一人に寄り添いながら、共に学び共に成長できる指導に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。1年間、**ありがとうございました!**